

四十雀クラブ東京

チームの歴史

1952年(昭和27年)発足の日本最古のシニアサッカークラブです。英語名称はPARUS FOOTBALL CLUB (PFC)。1952年8月、日本協会や関東協会の役員を務めていた面々を中心に22名が東大御殿下グラウンドで紅白戦を行ったのが当クラブの発足で、現在では下は40歳から上は90代まで200有余名を数えるクラブとなりました。

当クラブは、「生涯サッカーを楽しめるようその環境を整え、また会員同士が友情を高めると共にサッカーを通じてスポーツマンシップとフェアプレーの高揚を図ること」を目的(クラブ規約第3条)とし、会員がこの目的に賛同する仲間を紹介する形で運営してします。

チーム編成・過去実績

チーム構成は、40代・50代・60代・65・70代の各年代があり、40代・50代・60代はさらにチームを2つに分けています。

例えば40代では「40」と「40ミドル」の2チームで、トップチーム(その年代でのトップを目指すチーム)とセカンドチーム(チーム全員が参加して勝利を目指す)という位置づけで、2023年度の東京都リーグ参加状況は以下の通りです。

<40代>40:TCL-1(1部)、40ミドル(TCL-2(2部))

<50代>50:TSL-1(1部)、50ミドル(TSL-2(2部))

<60代>60:CWL-2(2部)、60ミドル(CWL-3(3部))

上記に加え、65リーグ、<70代以降>SFLにも参加しています。

2021年全国日本O-50全国大会優勝しました!

2022年70周年を迎え、これからもシニアサッカーの発展に貢献していきます。

活動内容・活動拠点

東京都シニアリーグでの活動をメインに活動していますが、千葉シニアリーグ(東京40/50/60の3チームがゲスト参加)や練習試合も実施。

毎年正月に姉妹チームである千葉四十雀との初蹴り&交流戦、12月には浜松怪童倶楽部との遠征試合等も実施しています。

年会費(8000円前後)+当日会費(1000円)の形で運営しており、公式戦の審判には倶楽部から手当を支給しています。

2021年までは兼松都賀グラウンドをホーム拠点に活動してましたが、同グラウンド売却に伴い地域グラウンドやレッズランド等を拠点にしています。

主な活動拠点(レッズランド、三菱養和調布、大田区森ヶ崎、府中郷土の森、二子玉川サッカー場他)

募集・問い合わせ等

入会は会員から紹介の形となります。チーム成績は東京都シニア連盟ホームページを参照下さい。

FACEBOOKにて当倶楽部の活動を登録していますが、2024年時点では会員専用で運用していますのでご了承下さい。

チーム写真

